

暗号化が人命を救う

難民キャンプに救いを求めている難民に最大限の支援を提供するため、ノルウェー難民評議会(NRC)は個人情報が入ったデータベースをPDAに移行しています。ただし、NRCは難民に関するデータが悪用されるリスクはどうしても避けなければなりません。そのため、Pointsecの暗号化技術を使用して、人命を保護することになりました。



データ収集と利用を簡素化するためのこのアイデアは、西スーダンのダルフル州で発生していた紛争中に生まれたものです。この地域における民族的な政治紛争によって、340万人が影響を受けています。人道主義に基づく組織が100以上の難民キャンプや難民センターを運営しており、難民の多くにとって、食料や避難場所、必要な医薬品を確保するための唯一の場所になっています。

ノルウェー難民評議会はノーベル平和賞発祥の地であるノルウェー最大の人道主義組織で、ダルフル州南部にあるカルマキャンプを運営しています。このキャンプには、同地域の紛争から避難している約10万人が収容されています。難民一人ひとりの情報を登録し、最新の状態を維持することは簡単ではありません。セキュリティが不十分なことが多い混乱した状況で、すぐに概要を収集して、情報を常に更新し、ニーズを正確に把握する必要があります。

登録機能の刷新

トード・ロー氏は、NRCのキャンプ管理部門の登録担当プロジェクトコーディネータです。ロー氏的主要な役割は、難民の記録を取り、個人情報を登録して、各人のニーズを記録することです。この種の情報は、供給品やシェルターを必要としている人数、必要なトイレや井戸の数、医療や保護対策の必要性など、現実的な問題に対処するために不可欠です。

トード・ロー氏は次のように語っています。「登録プロセス用の道具はこれまでペンと紙しかなく、非常に時間がかかっていました。」大規模な業務では、アナログ情報をPCデータベースに入力するまでに、その情報が古くなってしまいます。移動、死去、新生児の誕生などが日々キャンプ内で発生しているからです。

効率とセキュリティの向上

ロー氏は次のように説明しています。「数年前に東ティモールのプロジェクトでPDAを使用したことがあり、ダルフルのような人道支援活動でもPDAが有効ではないかと考えました。」ハンドヘルド型のデバイス実装にかかるコス

トを計算してみたところ、従来よりもコストを削減できるだけでなく、効率が3倍もアップすることが分かりました。NRCの業務では、効率は非常に重要な要素になっています。

ロー氏は次のように語っています。「登録の際に難民一人ひとりにバーコード付きの難民カードを渡します。その後、このカードを使って食料の配布や記録の更新を行います。カードをスキャンすると、PDAからそれぞれの情報を検索することができ、ハンドヘルドデバイスからの新しい情報によって、メインのデータベースは自動的に更新されます。特殊なコンピュータスキルがなくても簡単に処理でき、暗号化機能を追加しても、ユーザはパスワードだけ覚えていればよいので、作業が複雑になることはありません。PDAシステムを利用することで、予測能力が高まり、人道支援の質を向上することができますが、難民のセキュリティも向上することができます。」

さらに次のようにも語っています。「このシステムによって、スーダンなどの危機的な状況にある現場での人道支援作業の方法が大幅に改善され、支援内容の改善や人道的な保護の強化につながるかもしれません。」

セキュリティの重要性

新しいシステムに不可欠な機能の1つに、個人情報の安全性確保という点があります。ロー氏は次のように語っています。「10万人の人命に関わる情報が保存されたデータベースを、ポケットに入るような小型のPDAで携帯することで、情報漏えいのリスクが高くなります。データベースが加害者側の手に渡るとはどうしても避けなければなりません。そのため、デバイス上のすべてのデータを暗号化することが不可欠なのです。」

Pointsecを搭載したPDAによって、Pointsecで保護されたPCと同様の強力なセキュリティ機能が利用できます。情報は自動的に暗号化され、認証が正しく行われなければアクセスすることができません。Pointsecの情報セキュリティシステムは、一元管理されます。セキュリティポリシーは統一して設定されるので、エンドユーザが暗号化を回避、迂回することはできません。サインオン時に自動的にブートアップされ、ログイン画面が異なっている点以外は、ユーザの使用感に違いはありません。暗号化によってユーザの作業速度に影響を及ぼすこともありません。PDAで使用しているメモカードがあれば、それも暗号化できます。

NRCのロー氏は次のように語っています。「情報が確実に保護されており、デバイスのすべての情報が暗号化されていると分かっているので、安心して眠れるようになりました。データベースが保存されたPDAが不適切な人の手に渡り、人命を脅かすことがあってはならないのです。」

Norwegian Refugee Council (ノルウェー難民評議会)
は1946年に設立された民間組織で、20カ国以上で、
2,000人のスタッフが常にプロジェクトに従事しています。

写真提供: ノルウェー難民評議会、トード・ロー氏



【ポイントセック株式会社】

会 社 名: ポイントセック株式会社(英文名 Pointsec K.K.)

所 在 地: 東京都港区赤坂 2-22-24 泉赤坂ビル 2F

Tel: 03-3560-3177(代表)

Fax: 03-3560-3178

Email: japansales@pointsec.com

株 主: Pointsec Mobile Technologies AB(スウェーデン・ストックホルム) 100%

代 表 者: 代表取締役社長 石井 元

<Pointsec Mobile Technologies 社について>

ポイントセックの暗号化ソリューション「Pointsec」は、グローバルマーケットでの顧客数の多さ、業界最高レベルの認証システム、PC、PDA、携帯電話、リムーバブルメディアなどあらゆる機器をカバーする充実した製品ラインアップなどによりモバイル機器のセキュリティにおけるデ・ファクト・スタンダードとなっています。「Pointsec」は、企業の機密情報を保護する上で最も脆弱な場所であるモバイル機器において確かなセキュリティを保証するために、データの自動暗号化という信頼性の高いソリューションを提供します。独自の「オンザフライ」暗号化方式により、エンドユーザの手を煩わすことなく各組織のセキュリティポリシーに準拠した暗号化が実施でき、機器のパフォーマンスへの影響もほとんどありません。企業や政府機関は、ノートPC、PDA、スマートフォンやリムーバブルメディアに記録される機密情報を安全に保管することにより、自らのブランドイメージを保持、向上できるだけでなく、情報漏えいのリスクを最小限に抑え、機密情報や情報資産を保護し、顧客や株主からの信頼を高めることができます。日本ではクライアントPC情報漏えい防止ソフト「Pointsec for PC」、リムーバブルメディア情報漏えい防止ソフト「Pointsec Media Encryption」およびポケットPC用「Pointsec for Pocket PC」がリリースされています。